

# HSP 143 アプライアンス電源 ケーブルの交換

# 目次

.....	3
<b>アプライアンス電源ケーブルの交換: NetBackup 5330 アプライアンス</b>	
<b>ス</b> .....	3
<b>目的</b> .....	3
<b>影響のあるモデル</b> .....	3
<b>オンサイトのポリシーと手順</b> .....	4
<b>電気の安全性</b> .....	4
<b>ハードウェア部品の交換手順</b> .....	5

# アプライアンス電源ケーブルの交換: NetBackup 5330 アプライアンス

ドキュメント番号: 143

バージョン: 3.0 (15/03/10)

## 目的

このドキュメントでは、53xx アプライアンスの電源ケーブルの交換手順について説明します。

## 影響のあるモデル

### NetBackup 5330 アプライアンス

NetBackup 5330 アプライアンスは、使用可能なバックアップ容量を合計 456 TB まで拡張するハードウェアとソフトウェアのストレージシステムです。1 台の 2U NetBackup 5330 アプライアンス計算ノードと、接続された 1 台の 4U NetBackup プライマリストレージシェルフで構成されます。追加のストレージが必要な場合は、オプションで最大 2 台の 4U 拡張ストレージシェルフを追加できます。

NetBackup 5330 アプライアンス計算ノードは、前面パネルからアクセスできる 8 台の 3 TB SAS ディスクを搭載しています。計算ノードのメインボードに埋め込まれた RAID コントローラを使って 8 台のディスクのうち 6 台を 2 つの RAID1 ミラーボリュームとして構成し、2 台をホットスペアディスクとします。これらのボリュームには、ボリューム 0 とボリューム 1 というラベルが付きます。いずれかの RAID ボリュームのディスクでハードウェアのエラーが起きると、アプライアンスは RAID の再構築操作を自動的に開始します。再構築中、アプライアンスはランダムにホットスペアディスクを選択して、RAID ボリュームを再構築します。

スロット 6 とスロット 7 のディスクは今後の使用のために予約済みです。スロット 8 から 11 までは空になります。

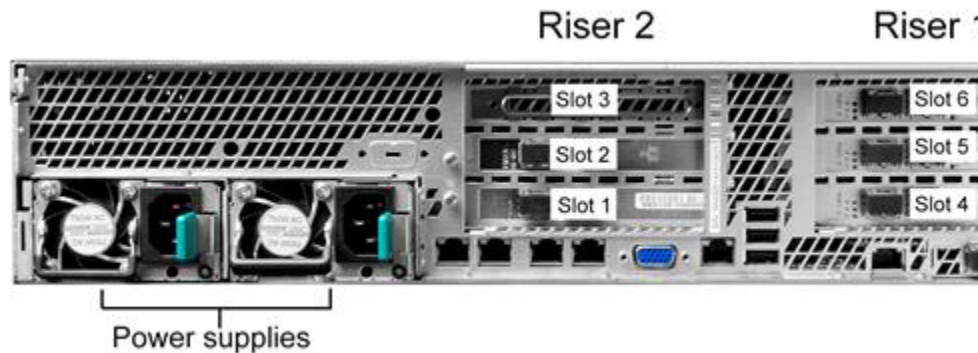
前面パネルの右側に小さなコントロールパネルがあります。ここには、システム LED と、電源ボタンを含む操作ボタンがあります。

図 1 NetBackup 5330 アプライアンス計算ノードの前面図



背面パネルには、6つの PCIe スロットがあります。これらのスロットには 10 Gb Ethernet NIC または 8 Gb Fibre Channel HBA を設置できます。背面パネルの左側には電源ソケットがあります。

図 2 NetBackup 5330 アプライアンス計算ノードの背面図



## オンサイトのポリシーと手順

### 電気の安全性

人体から出る静電気で基板上の静電気に弱い部品が損傷する可能性があります。装置の設置やメンテナンスを行うときは、怪我やデバイスの損傷を防ぐために、適切な静電気安全注意事項を遵守してください。

デバイスの静電気に弱い部分を取り扱う際には、静電放電 (ESD) 防護手段を講じる必要があります。この防護手段には、人身傷害やデバイスの損傷を避けるために身に付ける ESD を防止する手袋、リストストラップ、衣服などが含まれます。

デバイスを損傷から守るには、操作中に次の点に注意してください。

- デバイスを素手で触らないでください。人体からの静電放電によって基板上の静電気に弱い部品が損傷する可能性があります。
- サーバーや内部コンポーネントを取り扱う際には、ESD を防止するリストストラップや手袋、スーツを身に付けてください。

## ハードウェア部品の交換手順

### 53xx アプライアンスの電源ケーブルの取り外しと交換

このドキュメントでは、NetBackup 5330 アプライアンスの電源ケーブルを、アプライアンス稼働中に交換する方法について説明します。電源ケーブルのうち 1 本は、常時稼働している必要があります。両方の電源ケーブルを同時に取り外す必要がある場合は、アプライアンスをシャットダウンしてから電源ケーブルを取り外すようにしてください。

この修理は、ラックに設置されたアプライアンスで実施できます。

---

**メモ:** アプライアンスにストレージシェルフが付いている場合には、アプライアンスで作業する間、シェルフの電源を切る必要はありません。

---

### 必要条件

- NetBackup 5330 交換用電源ケーブル

電源ケーブルを外すには

- 1 次の手順で、不良電源ケーブルが使用されているアプライアンスを特定します。
  - 故障したコンポーネントのあるユニットまでお客様に案内してもらいます。
  - アプライアンスのシリアル番号を確認します。シリアル番号は SYM 番号です。シリアル番号は、アプライアンスの背面パネル中央にある垂直のポストに添付されているラベルに記載されています。
- 2 不良電源ケーブルを外します。

---

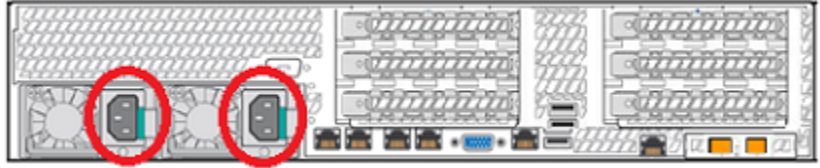
**警告:** 電源ケーブルは 1 度に 1 本ずつ交換します。両方の電源ケーブルを外す必要がある場合は、アプライアンスの電源が切れていることを確認してから、ケーブルを外してください。

---

電源ケーブルを接続するには

- 1 交換用電源ケーブルを包装箱から取り出します。
- 2 アプライアンスの AC 電源が次のいずれかの範囲内にあることを確認します。
  - 100 - 127 VAC、50/60 Hz、8.2 A

- 200 - 240 VAC、50/60 Hz、4.4 A
- 3 アプライアンスの電源ソケットに電源コードを接続します。お客様から指定されるAC電源に各コードのもう一端を接続します。



電源の LED が点灯し、緑で点滅を始めます。

- 4 お客様に連絡して、修理に満足されているか確認してください。お客様と連絡が取れない場合は、ベリタスのサポートにお問い合わせください。
- 5 お客様の施設を出る前に、次のセクションで説明する指示に従ってください。

ハードウェアの交換手順が完了した後、次の作業を行うことを推奨します。

- 設置場所から箱や梱包材をすべて片付けます。
- 梱包材等はできるだけ再利用します。
- 必要に応じて装置や道具を元に戻します。